



◆すくパラ広場 親子DEダンス

2月2日(月)10時30分～12時 港湾管理事務所 楽しいリズムにのって、親子DEダンス！ 小さいお子さんも一緒に参加できます。参加費有。要申込。☎080-5404-3986NPO法人葉山っすくすくパラダイス

◆葉山まちづくり館ギャラリー

2月3日(火)～28日(土)10時～17時30分(休館日は図書館の休日に準ずる。最終日は午前中のみ) 図書館2階 新登録団体の武蔵工業大学環境情報学部ラunds ケーブ・エコシステムズ研究室が葉山町の自然環境について現況把握、保全政策、復元計画等の研究成果を紹介。☎876-0421NPO法人葉山まちづくり協会

◆大学通信教育合同入学説明会

2月7日(土)12時～17時 横浜新都市ビル(横浜そごう)9階新都市ホール 大学23校、大学院11校、短期大学6校ごとの相談コーナーで大学の教職員から直接相談を受ける。小冊子「大学通信教育ガイド」を配布。☎03-3818-3870(財)私立大学通信教育協会

◆うみのこびと講演会

2月11日(祝水)13時～14時40分 うみの

こびと園舎 子どもと過ごす豊かな時間～うたと手遊び～。講師：嶋村慶子さん。1,500円。大人のみ。要申込。☎876-4063、Mail:koenkai@uminokobito.com志水(うみのこびと)

◆定例ボランティア活動

2月14日(土)9時30分から 介護老人福祉施設「葉山清寿苑」 どなたでもどうぞ ☎875-6734大熊(葉山町ボランティア連絡協議会)

◆「葉山のこみち」探索ツアー

2月22日(日)10時バス停「新沢」集合 上山口の雄大な景色と山沿いのこみちや里山の起伏を楽しみながら、梅などの花・木を見て歩きます。500円(保険代含)。30人(要予約)。各自弁当。「葉山のこみち」持参、当日購入可1,260円。☎090-2312-2257野中(NPO法人葉山環境文化デザイン集団)

◆葉山まなびや報告会

2月22日(日)10時～12時 葉山研修センター 地域を学びのフィールドにして子どもを育てる「葉山まなびや」の今年度の活動報告会(第2回子どもの声発表会)。無料。☎876-3036長塚(NPO法人学舎KOCO)

◆返子ふれあいフリーマーケット

2月27日(金)・3月13日(金)9時30分～15時 返子亀岡八幡宮境内 雨天中止。出店者募集中。☎090-5442-3778片岡(返子ふれあいマーケット)

◆早春の山歩き

3月7日(土)9時40分(雨天中止) 木古庭「大楠登山口」バス停集合→大楠山→衣笠城跡→衣笠山→衣笠駅15時解散。小学生

以上先着25人。200円(保険資料代)。昼食持参。☎878-7431伊東(葉山山楽会)

◆ソレイユの丘フリーマーケット

3月7日(土)・8日(日)9時～15時(雨天中止) ソレイユの丘公園内メイン通路 当会負担により葉山町民出店無料。駐車場代1,000円。家庭の雑貨・CD・テレホンカード等まだ使える不要なものを無料で引き取り、チャリティーへ贈る。☎878-7900木内(ごみ減量推進国民の会)

◆知的障害児者ガイドヘルパー講座

3月9日(月)～12日(木)・29日(日) 鎌倉市福祉センター 13,000円(テキスト・実習費含)。☎870-5280☎873-5370根津(支援センター)風)

◆NHK学園 入学生・受講者募集

高等学校普通科(NHK放送利用で3年間で高卒資格取得)：4月20日まで募集。生涯学習通信講座：通年募集。無料の案内書・願書有。☎042-572-3151NHK学園

◆のんびり草津温泉と長野・善光寺さんで開帳の2泊3日のバスの旅

5月6日(水)～8日(金)草津温泉ホテル高松 25,800円。特典多数、オプションツアー有。申込は☎875-3569フタナベ、問合せ☎875-1001☎875-2002中村(さといもクラブ葉山・チャリティ旅行会)

◆生涯学習 英語勉強会 基礎クラス

毎(木)10時～11時30分 一色小 初級A・B。他に中級(英検2級程度)のクラスもあり。月700円。☎877-4260坂口(生涯学習英語勉強会)

葉山歌壇俳壇

短歌

岡田 保子 選

◎特選

*共選

◎寒風の吹きすさぶ郷の朱鷺いかに 海鳴り聞くや山ごもりあるや 金井 比佐
 (評)絶滅危惧されている佐渡の朱鷺を人工飼育して野性にかえすべく十羽が放鳥された。経過を詠い折り続けた作者のまして故郷であればその思いは深い。時事性と情のある一首です。

過去帖の修理もなしてひと日終ゆ次は何せむ歳晩の日々
 商談の決まりたるらし手拍子と喚声聞こゆ羽子板市に
 「引き揚げ」来し里の年越し米蒸す匂ひ、杵つくかけ声、あんもちの味
 九十七歳の対談ありて又三年後にとさりと云えり日野原さんは
 小さき手に積み木にぎりしまま眠る幼はいかな夢みてをるや
 年の瀬に職失ひて宿もなく路上に過ぐす人やあるとふ
 水道管の凍し寒さや天の青 椿の花のほとりと落つる
 絶え間なく銀杏大樹は黄金葉を舞はせ山路に誘ふごとく
 日の当りひろがり来たる山見つつ谷の野天温泉にくつろぎてをり
 山本 ふで
 中川 弘子
 渡辺 裕子
 米田 宮子
 鈴木 榮子
 多羅 空竹
 須藤 恵子
 山崎みち子
 近藤 紘

俳句 沼田葉櫻子 選

俳句 浅井 一志 選

◎ひとり酌むワイングラスや小夜時雨 石川 光子
 (評)初冬のころ急にはらばらと降っては止み、晴れてはまた降り出すのが時雨である。この静寂な夜に、作者はグラスをかたむけて独り楽しんでるのだ。ワインの美色までが伺われる句である。

実千両ひと枝のこし鳥の餌に 伊藤 青風
 (評)千両は真赤な実と緑の葉の調和が美しい。時折小鳥がついばみに来る。それまで残してやりたいのだ。心のやさしい愛鳥の句となった。

暴走に鳥の飛立つ枯野道 熊本 京子
 風音に心なごみて寒明くる 石井富貴子
 仏像と視線の合ひて冬ぬくし 熊谷 晃門
 *此処ならと思ふ日向の寒さかな 村上 権次
 寒林の狭間に見ゆる富士の山 碓井美津子

◎此処ならと思ふ日向の寒さかな 村上 権次
 (評)冬ときは暖かさを求めるのは必然。日向ほこにはここだといふところを決めてかかったが、意外と風の通り道かで寒かったという意であろう。この意外性をとらえたのが一句のポイント。

建て増しの部屋は天国日向ほこ 川崎 虎康
 (評)建て増しの部屋は、ようやく希望がかなったものと思われる。おそらく自分の部屋としてだろう。天国である思いには喜びがしっかりと感じられる。日差しは燦々と日向ほこには最適だろう。

百千の帆柱ならぶ初日影 安藤とみ子
 正月まで持つか千両食はれけり 伊藤 青風
 枯菊を刈りアスパラを共に刈る 米田 宮子
 朝寒や社務所の板戸白々と 園田 義朗
 日溜りに光集めし水仙花 石川 光子